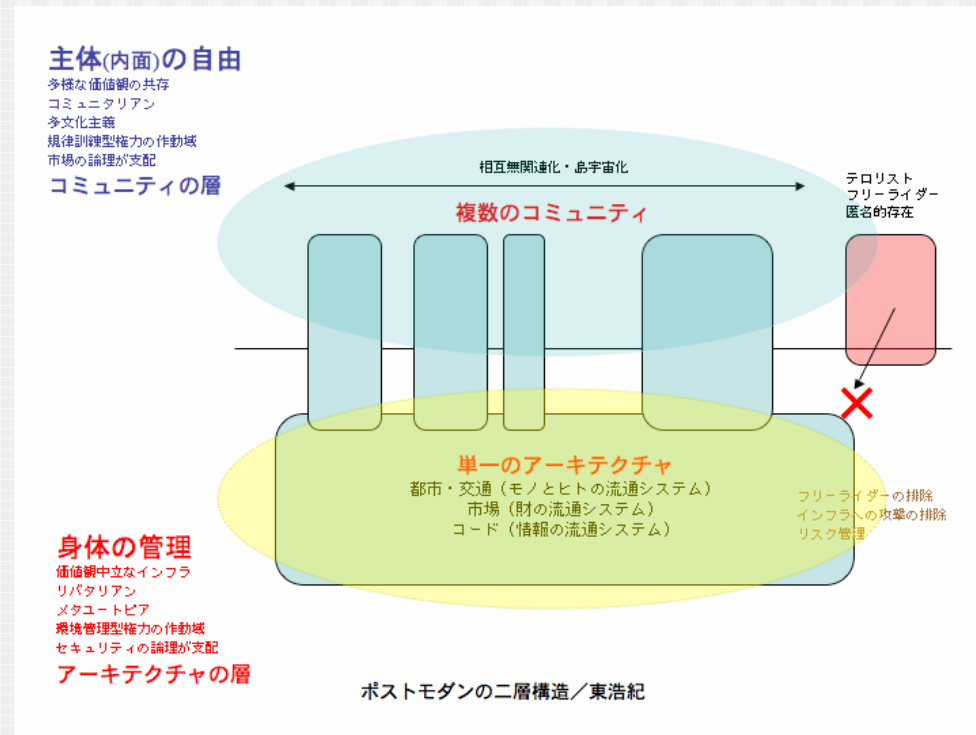


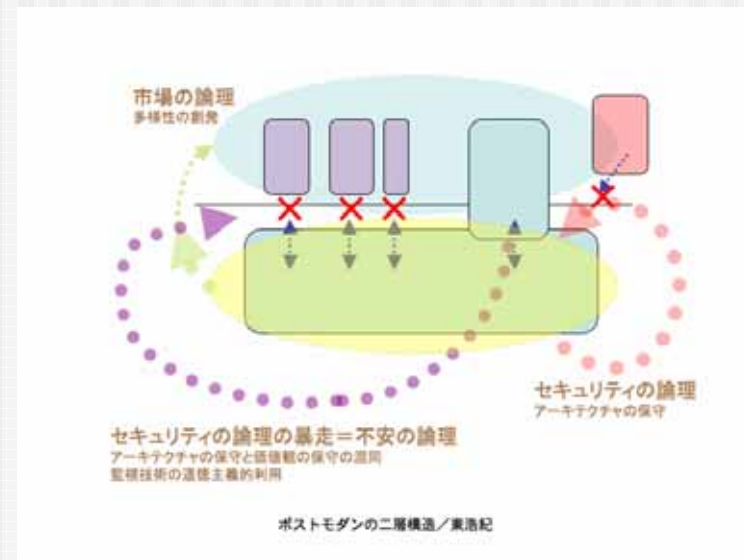
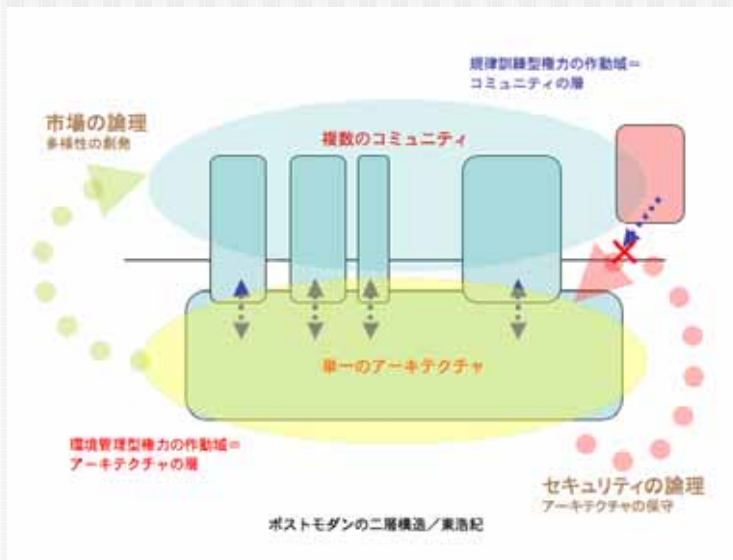
そもそも監視社会とは(1)

現代社会の秩序維持は、価値観の多様化、人とモノの流動化を前提として、「主体の自由」と「身体の管理」を切り離すことを特徴としている。



そもそも監視社会とは(2)

現代社会は、「多様性の創発」と「アーキテクチャの自立的維持」を公準としているが、「不安の論理」はときにその成就を妨げる。



監視社会 = 情報社会の公準

- **多様性の実質的な確保**
 - 管理の拡大は自由(多様性)の拡大を伴わなければ意味がない
 - 電子パスポートの目的、監視カメラの道徳主義的利用
- **リスクの理性的把握と情報公開**
 - 「安全・安心」を免罪符にしてはならない
 - 「不安」「リスク」の商品化・政治化を抑える必要も
 - モノの商品化 差異の商品化 リスクの商品化
- **匿名であることの権利**
 - ネットワークから切断された生活を最低限は確保すべき
 - サービスを受けたくなければ、個人情報も渡さなくてよい
 - 個人情報を提供しない = リスクという発想を止める